

KiKiの広場

2022年 1月 1日

cafe NO.135
KiKi



あけましておめでとうございます！

今年の干支の、十干が「壬（みずのえ）」、十二支が「寅」の「壬寅（みずのえとら）」とは、「辛く厳しい冬はいずれ終わり、暖かい春が来る。冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる」という意味があるそうです。また、「春の胎動が大きく花開くためには、地道な自分磨きを行い、実力を養う必要がある」といったことも指し示しているそうです。なかなか自分磨きできませんが、せめて春の胎動を敏感に感じることができるように、できるところから少しずつ努力していきたいと思えます。みなさま、今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

1月の予定

休館日	11日(火)
定休日	毎土・日・月曜日
年末年始 休み	25日(土)～ 1月4日(火)

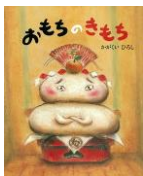


気まぐれシェフのKiKiオリジナルシフォンケーキ 「とら・トラ・寅・シフォンケーキ」 300円

プレーンとココア、2種類の味が楽しめるシフォンケーキです。🐯🐯🐯🐯🐯
今年の干支のトラ柄シフォンを食べて、この1年をハッピーに過ごしましょう!!(^_^)!

今月のお気に入り・・・「冬の絵本」

～「おもちのきもち」「かさじぞう」「アンナの赤いオーバー」「みるなのくら」「ゆきのひ」「ゆうかなアイリーン」などなど～



「おもちのきもち」は、大好きなかがくいひろしさんの本です。おもちにきもちがあるなんて、かがくいさんならではのユーモアいっぱい楽しい絵本です。初笑いにぴったり!!「かさじぞう」は、再話が佐田貞二さん、絵は赤羽末吉さんです。何よりも雪の描写に心惹かれます。「もかもか」と降っていた雪がおじぞうさまにかさをかぶせると、優しく温かそうな雪にかわります。雪の中に何度も取材に行かれ、何千枚と写真を撮られ、長い時間をかけてかかれた、赤羽さんの初めての絵本だそうです。



今月の本棚・・・「今年の干支 トラが出てくる絵本」

～「トラといっしょに」「トラのじゅうたんになれたかったトラ」「おちゃのじかんにきたとら」「とらのゆめ」「ちびくろさんぼ」～



「トラといっしょに」は、1枚の絵からできたお話です。その絵とは、ピカソが評価したフランスの画家、アンリ・ルソーの「不意打ち」という絵です。主人公のトムが美術館でその絵を見たことからお話は始まります。自分が描いたトラと冒険の旅に出るトム。臆病なトムが次第に自信をつけていく様子とお互いの関係が深まる様子が、とても愛おしく感じます。とにかく絵が美しいです。「トラのじゅうたんになれたかったトラ」は、年老いたトラのとっぴょうしもない夢が、痛い思いをしながらもかなうお話です。



題名にも表紙の絵にも「はあ?」と惹かれ、読んでまた「はあ?」と納得?、ほのぼの楽しい絵本です。

ほっとスレイク

現在「ヒストリア宇部」には、たくさんの絵が飾ってあります。2階の「ウォーキング・ギャラリー」や「エレベーターホール」、そして「第1交流室」の絵は、すべて水彩画の木村日出子先生がご提供くださっているものです。



またイベントホールの8枚のパネルには、木村先生を中心に毎週利用されている絵画グループ「4B会」の会員の方々の絵が、16枚飾ってあります。先日「宇部日報」で紹介され、木村先生と会員のみなさんの絵を見たいと、来館される方が急増しました。木村先生始め会員のみなさんも、時々絵を

入れ替えられたりしながら、お互いの絵を観あったり、いつもミニ展示会場のようになっています。私たちスタッフもしっかり楽しませてもらっています。ちなみに右の絵は「すすき」という題の木村先生の絵です。何気ない風景ですが、美しく淡い色合いに惹き込まれていきます。

